

動物看護師になるまでにできること

二年 望月琉奈

私は、将来、動物看護師になりたいと思っています。そのためにいろいろ調べるうちに、静岡県の動物愛護の現状について分かったことがあります。

一つ目は、犬猫の殺処分頭数についてです。静岡県の公式ホームページを見ると、犬・猫の殺処分頭数が令和三年度で犬三頭、猫百七十七頭と前年度と比べて合計百九十八頭も減少していることがわかりました。平成二十七年度和比べても十分の一以下に減っていて、年々減少傾向にあることが分かります。しかし、県の目標である、犬・猫の殺処分頭数ゼロには及びません。そこで、殺処分されてしまう犬猫の特徴を分析し、自分達ができることはなにか考えました。

犬や猫が保健所にやってくる理由は様々です。

「野良だから。迷子になったから。」

といった理由から、

「かわいくないから。もうお年寄りで看取るのが嫌だから。」

などの人間側の勝手な都合で理不尽に殺されてしまう子もたくさんいます。

静岡県には百以上のボランティア団体がありますが、それだけでは動物を救いきれていないというのが現状です。そんな状況を少しでもよくするために自分達子供ができることは、動物を大切にすることです。中学生がたずさわることでできるボランティアなんて簡単に見つかるものではないし、見つかったとしても金銭面や行動範囲が限られるため、学業と両立させることはきびしいといえます。でも、中学生ならできることがたくさんあります。動物を飼っている人なら、お世話をきちんとする、最期の日まで側にいるなどの当たり前のようなことを行ったり、動物を飼っていない人は動物に対して偏見をなくして、動物愛護の現状を知るだけがいいと思います。私が動物看護の道へ進み、専門学校や大学へ通うようになったら、県内のボランティア団体を手伝ったり、資格を取得して動物看護師になったとき、保護団体に預けられている動物の健康診断を行ったりといった、動物看護師だからこそできることを率先して取り組んでいきたいです。現実的に考えて実現はものすごく大変で難しいことは分かっているけど、NPO法人も人手不足ということなので、自分ができることはできる限りやっつけていこうと思っています。その前に、自分が動物看護師になる前に少しでも今自分にできることを探して取り組んでいきたいです。